

# 平成31年度 八洲学園大学国際高等学校事業計画書

## 1. 施設の概要

### (1) 所在地

学校名	所有区分	郵便番号	学校（会場）所在地	電話番号	FAX 番号
八洲学園大学国際高等学校	法人所有	905-0207	沖縄県国頭郡本部町備瀬1249	0980-51-7711	0980-48-4115

## 2. 学生（生徒）の概要

### (1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧（平成31年3月1日現在）

設置課程	設置学科	入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③技能連携 在籍者数 (人)	④聴講生数 (人)	収容率 (%) $(②+③) \div ① \times 100$
通信制課程 (広域)	普通科	—	5000	1180	0	1	23.6

### (2) 平成30年度入学者数・卒業者数・転学者数・退学者数・除籍者数予測一覧

	入学者数 (途中転編含む)	卒業者数	転学者数	退学者数	除籍者数	増加予測人数
正科生	555	311	11	7	50	50
聴講生	1					

## 3. 教職員関係

### (1) 平成31年度管理職の概要

職名	氏名	備考
校長	中村 成希	継続
教頭	鈴木 啓之	継続
事務長	平良 亮	継続

(2) 平成30年度教職員の概要 (平成31年3月1日現在)

		合計 (人)	沖縄	横浜
教員	本務	13	12	1
	非常勤	8	8	0
職員	本務	2	2	0
	兼務	8	6	2

八洲学園大学国際高等学校の平均年齢は教員41.1才、職員42.6才である。(平成31年3月1日現在)

#### 4. 事業の概要

##### (1) 事業の概要

###### ① 主な事業の計画

年度	事項	概要	進捗状況
25～	「高校卒業+αコース」の充実	入学検討者にとっての当校の魅力を高めるとともに、在校生へのキャリアプラン構築支援のため、さまざまな資格取得やスキル獲得のための格安な学習選択を提供する。	平成30年度は「+αコース」のメニューの拡充・見直しを行った。平成31年度についてもメニュー拡充を図ってゆく。
22～	高大連携の具体化	高校と大学の連携・接続を深めることで、内部進学者をいっそう増やすと共に、大学のある学園の高校として入学見当者からの魅力向上をはかる。	平成30年度は、大学公開講座の優遇受講、高校訪問活動での大学パンフの積極的配布、高校の地域支援活動であるひきこもり支援活動への大学教官の派遣（年2回）や大学の教員免許更新講習試験会場の設置、学校情報紙での大学学長紹介や大学入学案内を行ない、大学への進学者を前年に引き続き輩出した。平成31年度は、大学と連携して大学公開講座受講による高校特別活動認定を行う。

22～	地域貢献・地域交流	<p>地域海岸の清掃ボランティア活動、地域の恒例行事となった少年サッカー大会を主催し、地域貢献・地域交流を通して学校の知名度と好感度を浸透させる。地元教育委員会及び商工会の賛同・協賛も頂いている。</p> <p>「一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協議会 沖縄支部」に加盟し、地域のひきこもり支援者普及とスキルアップに貢献することで学校の知名度向上と入学見当者との遭遇機会向上をはかる。</p>	<p>平成30年度も、本部町教育委員会の後援を得てバスケットボール・サッカー大会を実施し、地域から高い評価を得た。平成31年度も引き続き地域活動・参加を継続する。</p> <p>平成30年度、ほぼ毎月のペースで外部講師を招いて「ひきこもり支援」に関する講演会&amp;勉強会を実施した。平成31年度も引き続き事業を実施する。</p>
22～	サポート校の開拓と支援	<p>小規模塾や高等専修学校などのサポート校開拓とサポート校の募集支援・連携した広報活動などの支援活動を通じて、生徒募集のチャンネル増を維持・拡大させる。</p>	<p>平成30年度は、サポート校未設置県への展開を積極的に行い入学者の確保に寄与した。平成31年度についても、県内外のサポート校新規開拓を継続して行なう。</p>
30～	高等学校等就学支援金の制度変更への対応	<p>平成31年度4月 e-Shien システム運用開始、7月マイナンバー導入と制度改正が予定されている。そこで制度改定を先取りしながら、生徒募集での案内や生徒保護者への事前のアナウンスを行うとともに、制度変更先駆けて事務体制の再整備を行う。</p>	<p>生徒さんへの案内文書、入学検討者への案内書類、学校WEBサイトの学費関連ページを刷新し、制度改正に沿った就学支援金事務手順の整備を行う。</p>
30～	次期学習指導要領への対応	<p>新学習指導要領への移行は、平成31年度より一部先行実施、平成34年度より全面移行となる。教科・科目の構成が多きく変わることから、入念な準備により円滑な移行を図る。</p>	<p>平成30年度は、カリキュラム研究を行うとともにTRES（八洲学園成績管理システム）の改修を行った。平成31年度は先行実施科目を実施し、全面移行へむけて教材開発を進める。</p>

23～	生徒の問題行動の未然防止	<p>本校での生徒指導のあり方を見つめ直し、生徒対応の方法・学校ルールのアナウンスを再考慮して短期集中スクーリング中だけでなく自宅での問題行動の未然の防止に努める。担任と生徒指導部だけでなく、全教職員での確認や研修、マニュアル整備を通して、学校力として生徒対応に当たる。</p>	<p>平成30年度は学校保健安全法令の改正を生徒指導マニュアルに反映させるとともに、宿舍管理規則違反や自宅での喫煙などの問題行動の未然予防を、学校情報紙や生徒向けパンフレットで啓蒙するとともに、ホームルームでの指導を強化した。平成31年度は、いじめ防止法改正・児童虐待防止法改正ににり強化が予定されている国のガイドラインを生徒指導マニュアルや教職員研修に反映させる。</p>
-----	--------------	---	---

② 施設・設備の整備計画

年 度	事 項	事業規模等	事業費	財 源	実施時期	備 考
3 1 ~	教室棟の錆び止め塗装工事	大規模	10,000,000	教育修繕費	4月～5月	平成31年度は教室棟を優先して行い、翌年度以降、生徒募集状況をみながら宿舎棟、食堂棟、職員室棟の実施を予定している。
3 1 ~	宿舎棟、食堂棟のエアコンの更新	中規模	5,840,000	建物	4月～5月	平成31年度は宿舎2階3階、食堂棟を優先して行い、翌年度以降の生徒募集状況をみながら教室棟、宿舎1階、職員室棟の実施を予定している。
3 1	PC、PC周辺機、印刷機などの設置	小規模	300,000	管理消耗品費	通年	不調機器の置き換えとサポートの切れる旧OS機を中心に行う。

③ 授業料変更等

年 度	事 項	概 要
3 1	計画なし	

③ 卒業者数、就業者数の見込みについて

平成30年度は、311名の卒業者数を見込んでいる。  
学校把握新規就業者数は、約20名を見込んでいる。

④ 生徒の就職、進学状況について

センター試験受験者・指定校推薦者一貫して増加傾向にあり、短大・専門学校志望から大学への進学志望へと4年制への志向が強まってきている。また、今年度も八洲学園大学への進学者を1名見込んでいる。就職については、在学中から活躍する音楽家やパフォーマー・世界的バレエダンサーを輩出している。

⑥ 教職員採用・退職計画

年 度	事 項	概 要
30	退職者（教職員5名、パート0名）	
31	教職員採用（常勤講師5名）	常勤講師（有期14名）、非常勤講師（有期8名）、常勤職員（有期2名）、非常勤職員（有期8名）

## 5. 財務の概要

平成31年度については、広域通信制高等学校3校の沖縄県内進出への対抗からの広報強化ならびにサポート校開拓により平成31年3月現在で募集が堅調で授業料収入増が見込まれる。増収分については、計画修繕の一環として実施する教室棟の錆び止め塗装工事および宿舍棟・食堂棟のエアコンの更新費用などに充てることを予定している。